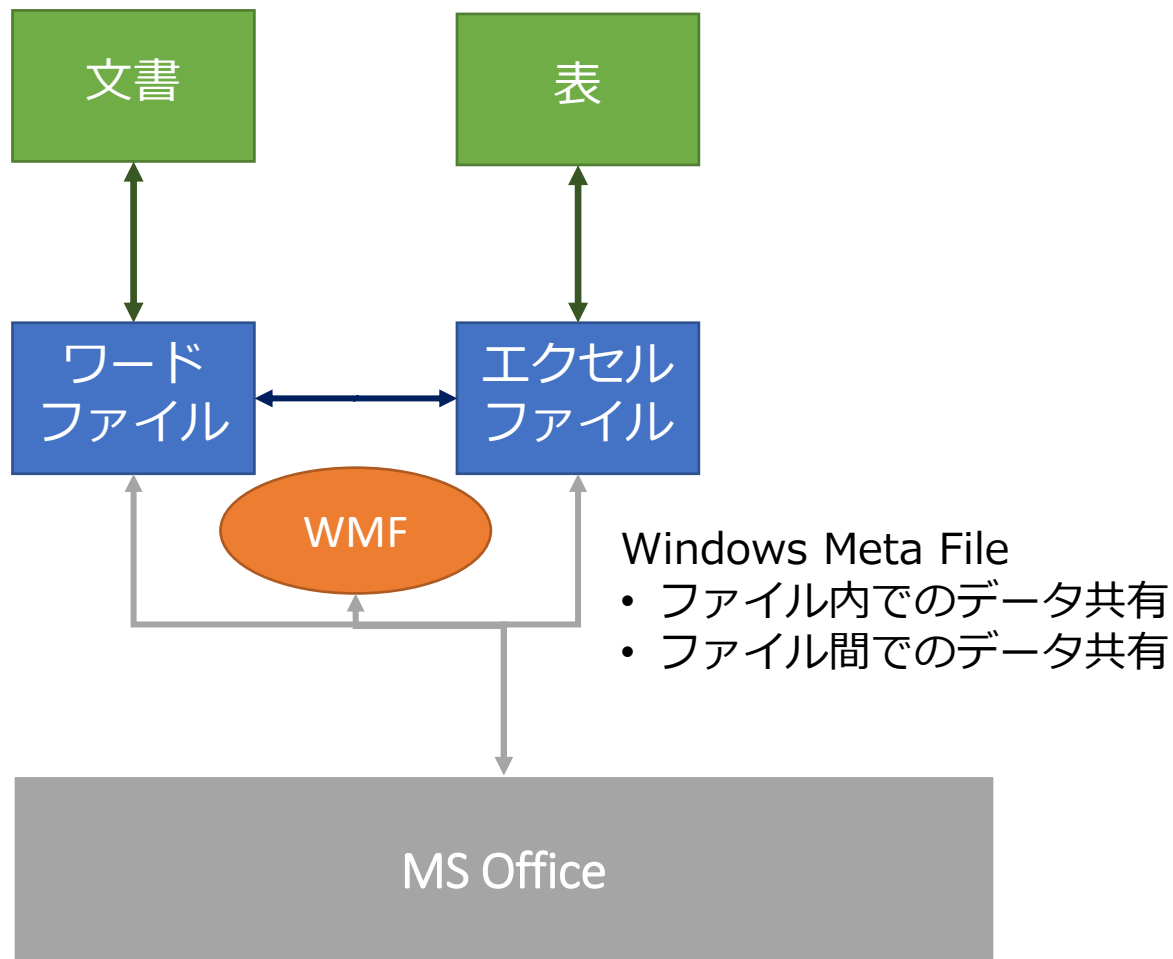
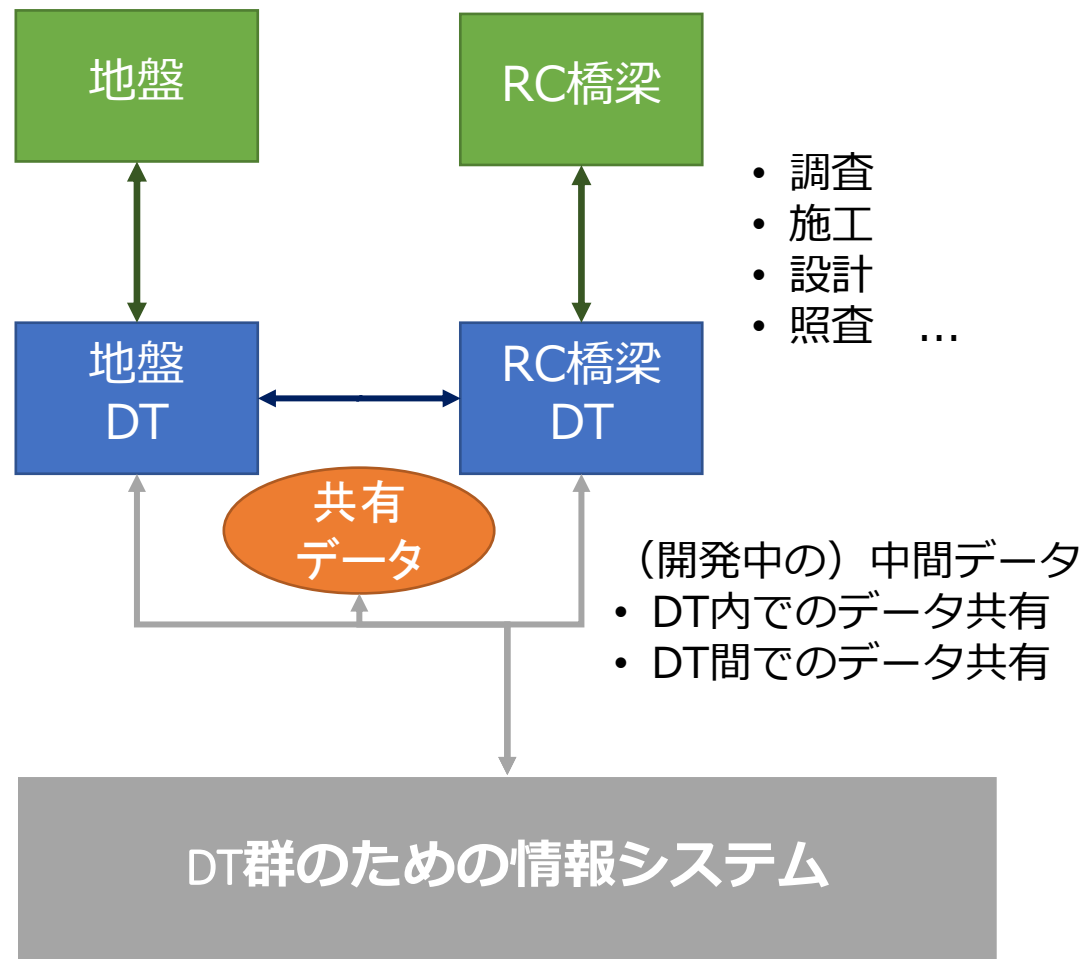


DTとMS Office



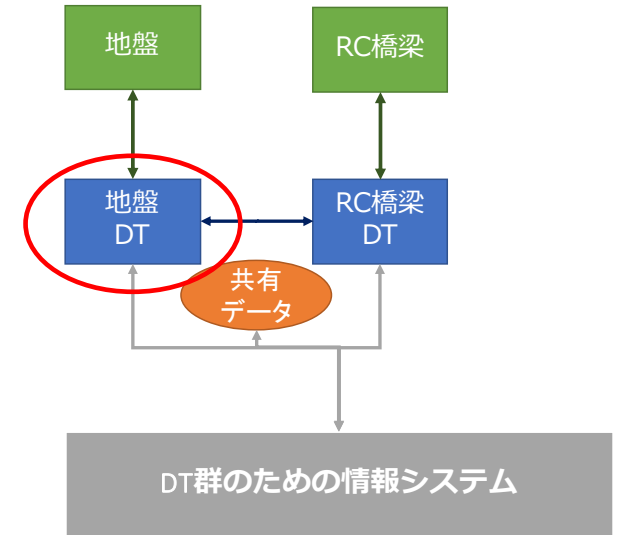
「どのようなファイルを作るか」はユーザが考え、
ファイルを作りやすくするために「どのような
MS Officeを作るか」はMSが考える



「どのようなDTを作るか」は我々が考え、DTを
作りやすくするために「どのような情報システム
を作るか」も我々が考える？

DTの導入により、インフラ整備はどう変わるのか？

個々のデジタルツインの視点で



◆ インフラ整備事業の生産性向上

- ◆ 「非デジタルデータのデジタル化」という遅れを取り戻すDX
個々の案件のデジタルツインは、案件に関わるさまざまな作業の工数を削減し、一人の作業の質と量を改善
- ◆ 「多数のデジタルデータの統合」という革新をもたらすDX
個々の案件のデジタルツインは、案件に関わるさまざまな作業を一体化し、複数の作業に必要であった人数を削減

DTの導入により、インフラ整備はどう変わるのか？

◆世界のインフラ整備事業の生産性向上

◆MS Officeは世界標準

- 多種多様なデータが極めて容易に共有
- 世界の全産業で利益を享受するも、最大の利益はMS一社？

◆地場産業の性格が強いインフラ整備事業者が変わる？

- 世界標準となる「DT群のための情報システム」が形成される将来
- 多種多様な世界のインフラ整備の知見を、DTを利用することで、土木技術者は容易に共有できるようになる
- 土木技術者は「DT群のための情報システム」のエンドユーザ？

情報システムの視点で

